様式１

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2021 年 7 月 30 日

（宛先）札幌市長

提出者　住　所	〒 100-8411 東京都千代田区有楽町一丁目13番1号
氏　名	第一生命保険株式会社
（代表者名）	代表取締役社長　稲垣　精二

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動
自動車使用管理計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		67 保険業					
事業の規模	従業員数	994	人	原油換算した燃料・熱・電気の合計量	224.4	kl	
	使用床面積	31528.84	㎡				
	事業所数	36	事業所	自動車使用台数		台	
	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	エネルギー起源CO_2 524 t-CO_2	メタン t-CO_2	N_2O t-CO_2	HFC t-CO_2		
		非エネルギー起源CO_2 t-CO_2	PFC t-CO_2	SF_6 t-CO_2	NF_3 t-CO_2		
提出根拠		条例第１３条（環境保全行動計画）	☑ 第１項 ☐ 第３項				
		条例第２３条（自動車使用管理計画）	☐ 第１項 ☐ 第２項				
計画期間		2021 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり					
備考	環境マネジメントシステムの認証登録の有無及びその種類	☐ 有（認証名　　） ☑ 無					
	その他	札幌市環境局環境都市推進部エコエネルギー推進課へ確認し、行動目標「事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減」の単位をtに変更					

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1　基本的な方針

（基本的な考え方）
第一生命は、「社会からの信頼確保」という経営基本方針に基づき、社会の一員として地域の環境保全、気候変動対応をはじめとする地球環境保護、自然資本・生物多様性の保全および循環型社会の構築を企業の社会的な責任と捉え、日常的かつ継続的に以下の行動指針に沿って環境保全に取り組むとともに、継続的に取組みを改善し、社会の持続可能な発展に貢献します。

（行動指針）
1. 事業活動における環境配慮行動
事業活動において、環境保全に関する諸法規等を遵守し、常に環境への影響に配慮した行動を行うよう努めます。

2. 事業活動に伴う環境負荷の低減
事業活動に伴う資源・エネルギーの消費や廃棄物等の排出について、省資源、省エネルギー、脱炭素、資源のリサイクル、汚染の防止およびグリーン購入を推進し、環境負荷の低減に努めます。

3. 環境啓発活動の推進
役員・従業員の環境問題に対する意識の向上をはかるとともに、環境保全活動への助成・支援をはじめとした環境啓発活動に努めます。

4. 情報開示およびステークホルダー・エンゲージメントの充実
環境取組に関する目標を設定し、適切かつ積極的に開示します。
また、さまざまなステークホルダーとのエンゲージメントを重視し、ステークホルダーとともに、環境に関する諸課題の解決を目指します。

2　行動目標

【計画期間】
2021 年　4　月　1　日 ～　　2024 年　3　月　31　日

行動目標	基準数値		目標削減率		目標数値		基準数値の設定根拠	削減項目
	数値	単位			数値	単位		
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	446.73	t	3	%	433	t	2020年度実績	電気使用量
				%				
				%				
				%				
				%				
				%				

３　行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2021 年度	2022 年度	2023 年度
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	昼休み及び残業時の不要な照明を消す	各事業所総務担当	全員			
	更衣室、書庫、会議室等の不要な照明を消す	各事業所総務担当	全員			
	昼休みや外勤等で使用していないOA機器の電源を切る	各事業所総務担当	全員			
	退社時にOA機器の電源プラグを抜く	各事業所総務担当	全員			
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	事務室内照明を間引く	各事業所総務担当	全員			
	出来るだけエレベーターではなく、階段を使用する	各事業所総務担当	全員			
	個別空調の設定温度を28℃にする	各事業所総務担当	全員			
	ブラインド・カーテン等の適切な使用により冷暖房負荷を軽減する	各事業所総務担当	全員			

４　環境保全に係る実施組織体制

５　その他（環境保全活動の取り組み等）